



【各事業説明に使用している記号】 L=工期延長 W=幅員 C=全体事業費

1 一般国道408号 真岡南バイパス(鬼怒テクノ通り)

- 真岡市寺内~真岡市長田
- 全体計画/L=3,480m W=30.0m C=140億円(完成4車線整備)

本路線は、常磐道谷和原ICと東北道矢板ICを結ぶ高規格道路「常陸・宇都宮東部連絡道路」の一部を構成する鬼怒テクノ通りの南端部に位置します。令和3(2021)年3月に暫定2車線で供用し、令和5(2023)年12月に一部区間の4車線化が完了しました。引き続き主要交差点の立体化を含めた整備を推進し、高規格道路としての機能強化を図っていきます。



2 一般国道294号 二宮拡幅

- 真岡市二宮拡幅
- 全体計画/L=4,100m W=22.0m C=37億円

本路線は、高規格道路「常陸・宇都宮東部連絡道路」の一部を構成し、県域を越えた連携・交流を促進する重要な幹線道路です。現道は2車線であり、朝夕を中心に交通渋滞が発生していることから、当該区間の4車線化(交通容量の拡大)整備を実施することで、高規格道路としての機能強化を図っていきます。



3 一級河川 五行川

- 真岡市横田
- 全体計画/真岡市横田 L=900m C=15億円

一級河川五行川は利根川水系小貝川の支流で、栃木県のさくら市から高根沢町、芳賀町、真岡市をとり茨城県筑西市へとつながる流域面積279km²、流路延長53.7kmの一級河川です。現在、河川の流下能力を向上させるために重要水防箇所指定されている高畦橋を含む900m区間の河川改修工事を進めています。



4 一般県道 下野二宮線 砂ヶ原橋

- 真岡市砂ヶ原橋
- 全体計画/橋梁補修工事 L=763.4m C=5億円

本路線は、下野市と真岡市を結び、第2次緊急輸送路に指定されている重要な道路です。砂ヶ原橋は昭和58年に架設され、法定点検において支承や床板等に損傷が散見されたことから、早期の補修が必要であるため、橋梁補修を実施し、橋の長寿命化を図ります。



5 都市計画道路3・4・306号 中郷八木岡線 荒町区

- 真岡市荒町区
- 全体計画/L=340m W=16.0m C=11億円

本路線は、真岡市の中心市街地を通り、都市の骨格を形成する重要な路線であり、真岡小学校の通学路になっています。しかし、現道は狭路で歩道が未整備であり、道路敷地内に立ち並ぶ電柱が歩行者の通行の支障となっていることから、現道拡幅及び歩道を設置することで安全で円滑な通行空間を確保するとともに、無電柱化を実施し、都市防災機能の強化を図ります。



6 主要地方道 つくば益子線

- 益子町長堤工区・長堤II工区
- 全体計画/長堤工区 L=3,820m W=18.5m C=40億円 長堤II工区 L=2,100m W=18.5m C=11億円

本路線は、益子町中心部と北関東自動車道桜川筑西ICを結ぶ重要な幹線道路です。現道は幅員狭小で急カーブが多いことから、安全で円滑な通行を確保するためバイパス整備を進めており、道の駅「ましろ」や茨城県方面へのアクセス道路としても期待されています。



7 一般県道 益子公園線

- 益子町益子工区
- 全体計画/L=1,140m W=10.5m C=5億円

本路線は、益子市街地と益子町大羽地内を結ぶ地域住民の生活道路として重要な路線であり、当該地区は益子小学校の通学路になっています。しかし、現道は幅員狭小で歩道がないため、車道拡幅及び歩道を整備することにより、歩行者の安全及び円滑な通行の確保を図ります。



令和7年度
(2025)
主な成果

16 一般国道121号 清水

- 真岡市清水交差点
- 全体計画/L=260m W=12.0m C=1億円

本路線は、宇都宮市と県東地域を結ぶ主要な道路であり、地域の東西交通を支える重要な道路ネットワークの一部を構成しています。本事業により右折レーンを設置したことで、交通渋滞が緩和され、交通の円滑化および交通サービスの向上が図られます。



15 一級河川 百目鬼川

- 益子町益子
- 全体計画/L=980m C=8億円

一級河川百目鬼川は、益子町を流れる利根川水系小貝川の支流です。益子町市街地から上流の区間は川幅が狭く、大雨時には隣接する県道益子公園線が通行止めになるなどの浸水被害が発生したため、河川の水を迂回させる放水路620mと河川改修360m計980mの整備を行い、安全で安心な暮らしを確保しました。



14 通常砂防事業 上郭内地区

- 茂木町上郭内地区
- 全体計画/砂防堰堤1基 (H=9.0m, W=83.0m) C=3.5億円

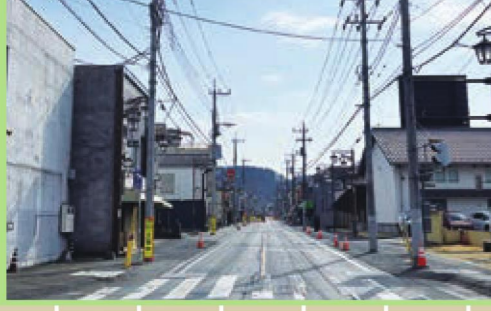
当該箇所は、茂木町の市街地に隣接しており、土石流危険渓流の下流には多数の人家や町民センター、町役場などがあることから、土石流に備える砂防堰堤を整備することにより、安全で安心な暮らしを確保しました。



8 主要地方道 那須黒羽茂木線

- 茂木町茂木工区
- 全体計画/L=400m W=12.0m C=9億円

本路線は、古からの商店や住宅が立ち並び、茂木町の中心市街地を縦断する道路となっています。本事業では、道路空間の再配置、無電柱化を行うことにより、災害時における防災機能の強化はもとより、中心市街地活性化のためのまちなみの景観向上や賑わいのある道路空間の創設を図ります。



9 急傾斜地崩壊対策 山根IA

- 真岡市山根IA
- 全体計画/崩壊土砂防護 L=208.5m、待受擁壁工 L=43.9m C=2.5億円

当該箇所は真岡市東部に位置し、土砂災害警戒区域に指定されています。保全対象として人家・公民館・生活道路があることから、土砂災害に備える急傾斜地崩壊対策施設を整備することにより、安全で安心な暮らしを確保します。



10 一般県道 黒田市境真岡線

- 市貝町杉山工区
- 全体計画/L=900m W=9.5m C=9億円

本路線は、市貝町を縦断し真岡市と茂木町を結ぶ重要な幹線道路であり、当該地区は小貝小学校の通学路になっています。しかし、現道は幅員狭小で歩道がないため、バイパス整備を実施することにより、歩行者の安全及び円滑な通行の確保を図ります。



11 主要地方道 那須黒羽茂木線

- 茂木町増井工区
- 全体計画/L=600m W=12.0m C=5億円

本路線は、那須町から茂木町市街地を結ぶ重要な路線であり、当該地区は茂木中学校の通学にも利用されています。しかし、現道は歩道がなく、車道幅員も狭小であることから、歩道整備及び車道拡幅を行い、児童や歩行者の安全及び円滑な通行の確保を図ります。



12 主要地方道 宇都宮茂木線 市貝バイパス

- 市貝町市貝バイパス工区
- 全体計画/L=2,200m W=27.0m C=11億円

本路線は、宇都宮市道場宿町を起点とし芳賀郡茂木町に至る重要な幹線道路となっています。当該箇所は、現在は2車線ですが、沿線に立地する大型工業団地や商業施設などへのアクセス道路として、産業・物流の活性化を図るため、4車線化整備を推進します。

